



政府統計

報道関係者 各位

平成 25 年 7 月 25 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 小野 暁史

課長補佐 關 雅夫（内線 7471）

計析第一係（内線 7470）

（代表電話） 03（5253）1111

（直通電話） 03（3595）2812

平成 24 年簡易生命表の概況

厚生労働省では、このほど、「平成 24 年簡易生命表」の概況を取りまとめましたので公表します。

「平成 24 年簡易生命表」は、日本にいる日本人について、平成 24 年 1 年間の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の人が 1 年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したものです。

日本の生命表として、厚生労働省では、「完全生命表」と「簡易生命表」の 2 種類を作成・公表していますが、「完全生命表」は国勢調査による人口（確定数）と人口動態統計（確定数）による死亡数、出生数を基に 5 年に 1 度作成し、「簡易生命表」は人口推計などによる人口と人口動態統計月報年計（概数）による死亡数、出生数を基に毎年作成しています。

【結果のポイント】

- ・ 男性の平均寿命は 79.94 年で、平成 23 年の 79.44 年を 0.50 年上回り過去最高（2 頁）。
- ・ 女性の平均寿命は 86.41 年で、平成 23 年の 85.90 年を 0.51 年上回った。
なお、平成 21 年の 86.44 年（過去最高）と比べると 0.03 年下回っている。（2 頁）
- ・ 平均寿命の前年との差を主な死因別に分解すると、地震をはじめほとんどの死因が平均寿命を延ばす方向に働いている（2 頁）。

（単位：年）

	男性	女性
平均寿命の伸び	0.50	0.51
うち「地震」による寄与（※）	0.26	0.34
うち「地震」以外による寄与	0.24	0.17

※「地震」による寄与とは、地震（平成 23 年においては主に東日本大震災）による死亡数が、平成 24 年は大幅に減ったことによる平均寿命の伸びを意味する。

- ・ 国別に平均寿命をみると、厚生労働省が調査した中では、日本は男性、女性とも世界でトップクラスとなっている（4 頁）。

※詳細は別添概況をご覧ください。